

平成20年12月10日発行

発行：学校法人皇學館  
編集：法人本部総務課

TEL0596・22・6308

E-mail : soumu@kogakkan-u.ac.jp

# 皇學館学園報

第18号

## ■伊勢学舎

[法人本部・大学院・専攻科・文学部・教育学部]  
〒516-8555 三重県伊勢市神田久志本町1704番地  
TEL0596・22・0201(代) FAX0596・27・1704

## ■名張学舎

[大学院・社会福祉学部]  
〒518-0498 三重県名張市春日丘7番町1番地  
TEL0595・61・3351(代) FAX0595・61・3350

●インターネットホームページ

http://www.kogakkan-u.ac.jp

# 「奉仕型リーダーシップ」が重要

## トヨタ自動車・奥田碩氏の講演に千人

十月三日、本学伊勢学舎記念講堂においてトヨタ自動車・奥田碩相談役の講演会が開催され、約千人が聴講した。テーマは「求められる日本のリーダー像について」。奥田氏は学生らを前にこれからは他人のために奉仕する「サーバント・リーダーシップ」が必要とされっていると語り、心が豊かで人として懐の深い人がリーダーとして活躍する世界になると話した。

### 日本には資源はなくとも 知恵がある

講演の冒頭、奥田氏は世界を眺めると①技術力革新、②資源と環境、③グローバル化、④人口動態の変化という四つの潮流があるとの認識を示した。そして、それぞれについて解決策を示唆。たとえば、①については日本には資源はなくとも知

恵があると強調。必要ならば海外からも優秀な人材を招いて理工離れが進んでいるといわれる教育界に新風を吹き込み、「科学技術創造立国」への足がかりを固めるべきと意見を述べた。②については日本の資源外交が遅れ

ている点を懸念しており、バイオ燃料や太陽光といった環境にやさしい資源の開発を進めながらも、中国やアメリカのよう

にエネルギー確保に向けた国家的戦略を早急に練るべきと断言した。④については先進国はとも

も少子高齢化の傾向にあると明言。労働力の減少を補うためには外国人を受け入れることも視野に、偏見は払拭すべきと持論を展開した。

### サーバント・リーダーシップが必要とされる時代

次に、どのようなリーダーが必要かについて言及。戦後の貧しい時代、「豊かさ」を目標に日本全体が突き進んでいた時は先頭に立って集団を引っ張ってゆく統率型リーダーが主流であった。ところが、目的が達成された今、リーダー像は転換していると言及。これからは他者に共感でき、懐の深い人間性でもって人を助けることのできるサー



講演後、花束を受け取る奥田氏。

### 建学の精神に通じるもの

聴講した文学部教育学科三年生の堀江幸香さんは「自分の国について学び誇りを持って行動してほしいという話は皇學館の建学の精神に通じるもので、あらためてその思いに共感した」と話した。同じく教育学科四年の中川奈央さんは「頭の偏差値だけでなく、人生の偏差値も大



今なおカリスマ性を放つ奥田氏をひと目見ようと、会場となった伊勢学舎記念講堂には学生だけでなく教職員や市民も多く詰め掛けた。



「産官学が連携して国際競争力に勝てる優秀な人材を育てる必要がある」と奥田氏。

## 第9回 高校生英語スピーチコンテスト English Recitation Contest



左から、優勝の大石君(飯野高)、準優勝の水口さん(皇學館高)、三位の稲田さん(久居高)。

### 皇學館高校・水口真奈さんが準優勝

本学コミュニケーション学科主催の高校生英語スピーチコンテストが十月二十六日、伊勢学舎四号館四三二教室にて開催された。高校生の英語運用能力の向上を促すとともに地域社会に教育研究の成果を還元しようと始まったこのコンテストは今年で九年目。今回は県内十五校四十三名が参加し、日頃の勉強と練習の成果を競った。

#### 「暗誦」は英語学習の基本

本大会は「暗誦(Recitation)」を重視している点で他のスピーチコンテストと趣を異にする。スピーチの

時間は三分程度で、読み上げる原稿も自作のものではなく教科書や短編などを使うことが決まりました。

大会の実行委員長である豊住誠コミュニケーション学科教授は「暗誦は英語学習の基本。語彙力や発音も大切ですが、質のよい英文を覚えておく」と英語の地力、応用力が身につきます」と話し、生徒にはコンテストに参加することを通じて暗誦の楽しさやその効果を実感してほしいと語る。

#### 聞き手に届く話し方、題材選び

審査の結果、飯野高校二年の大石君が優勝。皇學館高校からは一年

の水口真奈さんが準優勝、同じく二年の永井まりえさんが特別賞に選ばれた。

水口さんが暗誦したのは落語の「A Fire in the Stable(厩火事)」。髪結いを生業にするおさきとその亭主の話で、巧みな落ちが人気となっている演目の一つだ。面白く聞いてもらえるようにこの題材を選びました」と水口さん。ALITのタネット先生からジェスチャーも大事とアドバイスを受け、発音もよくなることながら身振り手振りを加えより聞き手に届く話し方になるよう工夫したという。夏休み頃から毎日三十分家で暗誦し、放課後も時間があれば先生に指導をお願いして練習に励んだとか。将来は入国審査官など英語を活かす職業に就きたいと語り、準優勝に輝いたことで自信が付いたと笑顔で語る。

豊住教授は「今年は昨年よりも参加者が多く激しい競争となったが、皆しっかり練習をしてきており、その成果が発揮された」と話し、今後の発展に期待を寄せた。

創立百三十周年・再興五十周年記念事業寄付者芳名

創立百三十周年・再興五十周年記念事業募金につぎまして、学内外の方々から変わらぬ励ましの声とともにその後も多くの「芳志をいただきました。みなさまの「理解とご好意に對して心より厚く御礼申し上げます。ご協力いただいた方々の芳名を掲載させていただきます。事業活動の一層の充実をはかるべく、今後ともどうぞよろしくお願い致します。芳名掲載につきましては、十月三十一日までの到着分とさせていただきます。

Table with 4 columns: 区分, 申込件数, 申込金額(円), 納入金額(円). Total: 3,405, 1,065,976,000, 980,241,000.

宗教界(神社界)

- 千葉県: 十三万円 [十万円増額] 清瀧神社様 (浦安市堀江)
大阪府: 五万円 平岡 努様
奈良県: 五万円 佐野 克之様
島根県: 五万円 春山 健一様

館友

- 三重県: 五万円 5期生同窓会一同様

個人の会(保護者の会)

- 博士前期課程神道学専攻: 三万円 鳥羽 元枝様
文学部神道学科: 六万円 鈴木 和幸様

個人情報保護に関する法律の施行に伴い「芳名金額等の掲載を希望されない方々につきましては、別記とさせていただきます。■誓の会」49名

本人確認にご協力ください!

平成19年1月4日から、本人確認手続に関する法令の改正により、金融機関において10万円を超える現金をお振込みされる場合には、本人確認書類の提示が必要となりました。提示がない場合には、金融機関では10万円を超える現金によるお振込みができません。10万円を超える寄付金を現金でお振込みの際には、振込用紙とともに来店される方の本人確認書類をご用意のうえ、金融機関の窓口をご利用ください。

- 本人確認書類: 運転免許証、健康保険証、パスポート等公的証明書
皇學館大学 問い合わせ先: 記念事業推進室 ☎0596-22-6313

- 田井 宏栄様 五万円
浅原 稔様 三万円
足野 吉弘様 三万円
石井 英之様 三万円
石原 純一様 三万円
岡部 政治様 三万円
小野 雄一様 三万円
小野 日隆様 三万円
木村 直彦様 三万円
小瀬 潤様 三万円
小林 司様 三万円
杉本 隆彦様 三万円
須藤 茂様 三万円
関口 真人様 三万円
野上 謙治様 三万円
野中 要佐様 三万円
花澤 幸三様 三万円
藤原 清次様 三万円
柳川 明彦様 三万円
山田 邦彦様 三万円
吉見 英和様 三万円
菅原千恵実様 三万円
上川原 誠様 三万円
小林 廉様 三万円
仙島 秀雄様 三万円
永井 清様 三万円
堀口 昇様 三万円
宇野佐和子様 三万円
柴田 清弘様 三万円
野呂 昌己様 三万円
服部 晴美様 三万円
水谷 重郎様 三万円
新井 正人様 三万円
佐久間 紀様 三万円
高木 和彦様 三万円
伊藤 武司様 三万円
久保 登様 三万円
榎山 敦雄様 三万円
池田 高志様 三万円
稲増 雅章様 三万円
小田谷 司様 三万円
小林 典生様 三万円
斉田 敏光様 三万円
田中 一光様 三万円
中西 一雄様 三万円
大西 哲雄様 三万円
木村 宏様 三万円
窪田美智男様 三万円
志田 栄様 三万円
嶋田 博文様 三万円
高橋 清美様 三万円
野中 要佐様 三万円
福武 知重様 三万円
丸山 寿様 三万円
宮崎 稔様 三万円
森 司様 三万円
安井 裕登様 三万円
若葉 健次様 三万円

皇學館大学社会福祉学部開設十周年記念国際学術シンポジウム開催



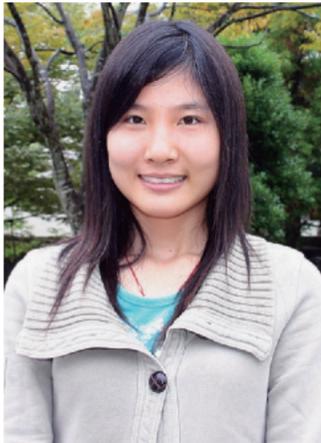
日本とアジアの社会福祉のゆくえ ~欧米との比較の観点から~
十月三日、四日両日にわたり、名張学舎ではシンポジウム「日本とアジアの社会福祉のゆくえ」を主催。学生、教員を中心に名張市民、社協関係者、社会福祉法人職員など両日合わせてのべ約三百名が来場した。

この流れを受けて、福祉の研究や実践が進んでいる欧米と、日本やアジアの社会福祉の比較という観点から、地域社会における社会福祉の在り方について内外の研究者を交え、広い視野から問いかける内容となった。

両日参加した三年生の水本直也さんは「日本でも今後、少子化・高齢化が進み、福祉の視点が重要になる。今回のシンポジウムで得たものを今後の進路に生かしたい」と福祉先進国の状況を知り、刺激を受けたようだった。市内から参加したポスター・みどりさんは「社会福祉の政策的なこと、実践的なことが両方聞けてよかった」と感想を述べた。



ジェフ教授の基調講演に感銘を受けたと語る水本さん。



日本人の友達が出来るとこちらの生活にだいぶ慣れたと語る王倩(せん)さん。

宮崎駿監督の「となりのトトロ」、「千と千尋の神隠し」も好きでした。
「わたしもアニメがきっかけです。『犬夜叉』や『クレヨンしんちゃん』、『ちびまる子ちゃん』が面白かったです。また、神話や歴史が好きなので「陰陽師」も見ていました。

日本人の印象は?
親切で礼儀正しいです。日本に初めて来た日、名張駅で待ち合わせたのですが、行き違いがあつて、待つていたんです。交番に行ったらおまわりさんが大学の電話番号を調べてくれたので連絡がとれ、無事に会つことができました。

将来の目標は?
貿易関係の仕事に就きたいと考えています。プライベートでは、ロンドン・ヘアリンピックを観に行くことですね。

せん 神話といえは、「西遊記」の沙悟浄が日本では河童と聞いてびっくりしました(笑)。
せい わたしも(笑)。ほかに、町を歩けば神社がいたるところにあって、神様と人の距離が近いですね。

留学生インタビュー 初の交換留学生二名が来校

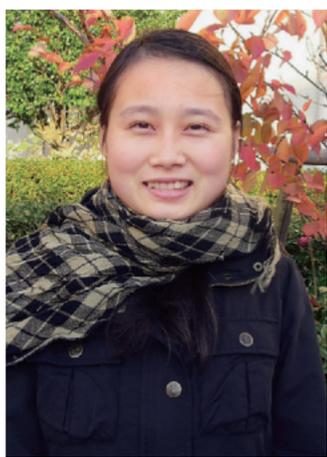
中国・河南大学から二年間の私費編入

この度、本学と河南大学はそれぞれの大学における学生の教育および学習成果の深化と発展を目的に「皇學館大学と河南大学との間の私費編入留学生受入に関する覚書」に調印した(学術交流協定は平成十六年十月)。九月二十六日には王倩(せん)さん(社会福祉学科)、王倩(せん)さん(国文学科)の二名が河南大学から初の留学生として来日。日本での学生生活の印象や留学への期待についてインタビューした。

キャンパスは過ごしやすいですか?
はい。緑が多くてとても静かです。中国の大学には一年生だけで一万人弱いましたから。その点、皇學館大学は人数が少なくアットホームな雰囲気ですね。

福祉学科で学んでいます。興味深かったのは、「神道と福祉」の授業で先生が日本人の三割が宗教を、七割が宗教心を持っていておっしゃっていました。日本人のやさしさの背景にそうしたことに関係しているのかもしれないと思いました。

せん 「鰻の蒲焼き」が好きになりました。中国でよく食べるタウナギとは、全く違います。
せい 「茶碗蒸し」が気に入りました。あの食感、何とも言えません。



伊勢のおまつりで初穂曳に参加したのが楽しかったと話す王倩(せん)さん。

皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業寄付者芳名⑤

皇學館高等学校創立五十周年・皇學館中学校創立三十五周年記念事業募金活動は、十九年六月、正式にスタートいたしました。これは、募財活動の中心を「生徒の教育活動支援」に置いていくものでありますが、十月三十一日現在での募金状況は、次の通りになっております。ご協力いただいた皆さまのご理解に感謝申し上げますと同時に、今後のご賛同・ご協力をよろしくお願ひ申し上げます。

皇學館高等学校創立50周年・皇學館中学校創立35周年記念事業寄付金進捗状況 平成20年10月31日現在
Table with 4 columns: 区分, 申込件数, 申込金額(円), 納入金額(円)



「3年以内に教育の現場に入ることみなさんに約束します」と伊藤氏。

「リスペクトの心を大切に」

記念講演会◆皇高祭



上/軽妙なおしゃべりとともにオペラの楽しさを語る青島氏。下/吹奏楽部の演奏。「崖の上のポニョ」や「情熱大陸」など多彩な曲が演奏され盛り上がりを見せた。

九月十八・十九日の両日、皇學館高等学校の学祭「皇高祭」が開催された。初日は伊勢市観光文化会館において吹奏楽部の演奏会や記念講演、テレビでおなじみの青島広志氏によるオペラ解説が行われるなど、

盛りだくさんの内容となった。記念講演の講師は大島謙学校長の友人で現在ニュージーランドにおいて旅行関連の仕事に従事する伊藤博英氏。演題は「海外での勉強・無限の可能性を信じて」。豊富な海外経

験を持つ伊藤氏はニュージーランドと日本の教育の違いに触れ「海外はづかみに行く授業。自分から行動を起こさないと何も始まらない」と受け身になりがちな日本の教育のあり方に疑問を呈し、「自分で自分を育てていくという強い信念、ポジティブさを持つてほしい」とエールを送った。続けて、他者をリスペクト(尊敬する)気持ちを忘れないで話し、相手を認める心を大切にしてほしいと熱く語った。



「二年生の必修科目「伝統の心と技(和歌)」の特別授業として五十人ほどが聴講した。

また、戦後の国語教育の貧しさを憂慮。わかりやすさ、を重視するあまり古典を現代語訳で読む人が増え、源氏物語が恋愛小説として安易に理解されていることなどを例に挙げながら狭い視野で日本の古代を紐解くのは間違いと指摘した。さらに、和歌の世界でも口語体で歌を投稿する例が多い現状を嘆いた。その上で心の機微を表現するのに古典にかなうものはなく、「調べ」からも歌に宿る思いを汲み取ることが大事と力説。ぜひ、格調高い原文で古典を読む力を身につけてほしいと訴えた。

同窓会会員 三重県 浅野 敦様, 浅井 秋子様, 阿部 弘則様, 板谷 一満様, 中村憲太郎様, 沼田 玲子様, 橋本 浩一様, 東浦 淳子様, 後援会賛助会員 三重県 木田 英敏様, 久保 登様, 野村 元様, 森 修様, 森 司様, 福岡県 野上 清隆様, 京都府 鳥居 肇様, 福井 良典様, 庄平様, 森 星子様, 森 陽子様, 山路 太一様, 加藤 隆人様



「文語体で歌を作るなど、崩れつつある日本の文化を少しずつ甦らせていこう」と力説。

歌人・岡野弘彦氏が二時間の熱弁 特別講義「日本の伝統の心と技」

本学出身の歌人で国文学者の岡野弘彦氏が十月八日、一年生の教養科目「日本の伝統の心と技」の一環として特別講義を行った。計三時間という長時間に渡った講義にもかかわらず最後までかくしやくたる様子で熱弁をふるい、学生たちの心に残る特別授業となった。

考える前に感じる事が大事

岡野氏は神宮皇學館を経て國學院大學へ入学。在学中に民俗・国文学者の折口信夫氏に師事し、最後の弟子として死を看取ったことで知られる。

格調高い原文を読み解く力を

また、戦後の国語教育の貧しさを憂慮。わかりやすさ、を重視するあまり古典を現代語訳で読む人が増え、源氏物語が恋愛小説として安易に理解されていることなどを例に挙げながら狭い視野で日本の古代を紐解くのは間違いと指摘した。さらに、和歌の世界でも口語体で歌を投稿する例が多い現状を嘆いた。その上で心の機微を表現するのに古典にかなうものはなく、「調べ」からも歌に宿る思いを汲み取ることが大事と力説。ぜひ、格調高い原文で古典を読む力を身につけてほしいと訴えた。

情報を伝える記号として生まれたのではなく、もっと深く重い目的を達するために祖先が生み出したのではないか。言葉の響きは自然と心に染み入るもの。頭で考える前に感じる力を磨いてほしいと話した。そして、日本の古代歌謡の特徴として単語の多義性を指摘。たとえば、国歌「君が代」の「君」は父母や長老といった敬愛すべき存在を指す言葉であるなどとしながら、もっと自由な発想で言葉の意味を捉えたどってほしいと熱く語った。

# 学園ニュース

# 絆深めた多彩なイベント

## 第47回 倉陵祭・第11回 皇名祭

10月25・26日、11月1・2・3日と今年も恒例の学園祭が両学舎で開催され、学生をはじめ地元市民も大勢集う賑やかな催しとなった。47回目を迎える倉陵祭のテーマは「彩」、11回目の皇名祭は「絆～笑顔と共に～」。文字通り絆を深める多彩なイベントが繰り広げられ、笑顔の輪が広がった。



高校生や父兄の姿も多く見られ賑わった倉陵祭。敷地内には焼きそばやラーメン、焼き鳥など模擬店が軒を連ね、おいしそうな匂いが辺りに漂った。

「ピノキオ」を演じるレクリエーション部のメンバーたち。

### 歯に衣着せぬ発言で会場沸かす

多彩な催しが開かれた中、とくに盛り上がったのは三日目の十一月三日に行われた政治評論家・三宅久之氏による講演会だ。「たかじんのそこまで言って委員会」や「ビートたけしのTVタックル」など討論系バラエティ番組にレギュラー出演している三宅氏の知名度を表すかのよかに、会場には老若男女を問わず大勢のファンが詰めかけた。

講演ではテレビで見せる辛口評論そのままに、今の混乱した政局を独自の視点で解説。吉田茂氏の番記者だった頃の話にはじまり、麻生太郎氏や小沢一郎氏の人物批評、また「年内の解散はないでしょう」と選挙に向けた動きを予測するなど政



ユーモアを織り交ぜながら政治家の知られざる一面や政局について語る三宅氏。

### 倉陵祭

治評論家としての見解を示した。さらに、少子化問題について天敵と目される田嶋陽子氏と丁々発止の議論を交わした際のエピソードを明かすなど、会場を大いに沸かせた。

### 百人超の子どもが集った子ども広場

五号館ではレクリエーション部による子ども向けのイベントが開催され、百人超の家族連れが訪れるなど大いに賑わった。とくに人気を集めたのは「ピノキオ」をアレンジした演劇だ。脚本から照明、音響などすべて



夢を持つことの大切さが伝われば、と高橋さん。

学生が担当。「思いやり」「やまのこ」など子どもに

### 社会福祉学部ならではの企画

名張学舎では、第十一回皇名祭が十月二十五日、二十六日の両日にわたって開催された。第一回から受け継がれてきた《なほり愛フリー》のテーマのもと、今回のテーマは「絆～笑顔と共に～」。

### 皇名祭

学生同士の絆、大学と地域の絆など皇名祭を通して様々な人との絆が生まれ、学生や来場者に笑顔になってもらいたい、との思いから決まった。初日は天気もよく神明宮での祭典後、各部署の

企画をはじめ、屋外通路沿いには各模擬店がずらり。また福祉を学ぶ大学らしく、学内のサークル・点字広め隊の展示や車椅子ダンス部による社交ダンスなどの企画も多数行われた。



「車いす体験&フォトラリー」では、一般市民が車椅子体験に挑戦。模擬店をはじめ、大学祭のあちこちに近郊からの参加者の姿が見られた。

中でも、ふくし部署が企画した「車いす体験&フォトラリー」では、一般市民が車椅子体験に挑戦。模擬店をはじめ、大学祭のあちこちに近郊からの参加者の姿が見られた。

伝えたいメッセージを盛り込んだ夢いっぱい劇となった。部員で教育学科二年の高橋あゆみさんは力太力太を少なくしたセリフに

変えたり、道具を子どもに背丈に合ったサイズにするなど工夫した点を語り、「とにかく子どもの視線に立つことを心がけた」と話した。

「車いす体験&フォトラリー」では、一般市民が車椅子体験に挑戦。模擬店をはじめ、大学祭のあちこちに近郊からの参加者の姿が見られた。

市民や卒業生が大勢訪れるのも皇名祭の大きな特徴の一つ。地域福祉文化研究所が主催する「週末あそび塾」では、地域の子どもたちが学生と一緒に竹の箒やパンダ作りなどにチャレンジ。「毎年楽しみにして来ている」という名張市内からの女性もおり、大学祭が地域の人々と大学の交流の場になっていくことがうかがえた。

### 博物館学芸員課程 卒業展示◆神道博物館

## 卒展 今年も盛況



「卒業展示」は豊富な資料を所蔵する神道博物館を附属施設として有する本学ならではの美習といえる。

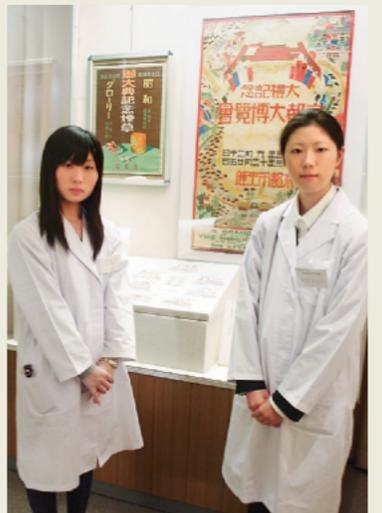
### 四年間の集大成

博物館学芸員課程をとった学生は資格取得のため所定の科目履修のほかにさまざまな実習をこなす必要がある。その一つが神道博物館での基礎実習だ。古文書や漆工、服飾等の資料を活用しての保存科学の基礎と資料の取り扱い方法をはじめ、調書の作成、写真撮影の初歩、印刷物作成の基本、展示技術の能力を養う。大

生が実習の成果を発表する貴重な場だ。

### 多くの市民が来館

今年の卒業展示は十一月一日から二十九日にかけて開催され、三つの班がそれぞれ「生姜糖」お伊勢さんのお土産「今昔」「伊勢和紙」神の紙「御大札」大正から昭和へをテーマに展示した。



「御大札記念京都大博覧会ポスター」の前にて。河村早織さん(左)と岡田美佐子さん。

十一月一日から三日は倉陵祭が開催されていたこともあり大勢の市民が来館。市内から来たという主婦は生姜糖や伊勢和紙の歴史に触れ、伊勢に長く住んでいても知らないことが多い。今回の展示で神宮あつての伊勢、ふるさとの魅力を再発見した」と話した。

### 限られた予算の中 工夫が随所に

三班は神道博物館のコレクションを利用した展示が

「紙の資料が多かったので写真を添えたり大礼服を飾るなど視覚で見せることを心がけた」と工夫した点を

今年の卒業展示は約一月間でおよそ七百名の来館者を数えた。学生の創意工夫が感じられるとともに地域の歴史や文化を知るまたとない機会でもある。来年はどんな展示が見られるか、楽しみだ。

「車いす体験&フォトラリー」では、一般市民が車椅子体験に挑戦。模擬店をはじめ、大学祭のあちこちに近郊からの参加者の姿が見られた。